

①本年度の取り組み状況の確認

具体的な取組の柱	主な内容	目標時期	実施する機関											
			八王子市	立川市	青梅市	昭島市	日野市	福生市	多摩市	羽村市	あきる野市	東京都	気象庁	関東地整
			事項											
1) ハード対策の主な取組														
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備														
①防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布、防災無線テレビジョンサービスの導入	・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布、防災無線テレビジョンサービスの導入、デジタル化、難聴地区の解消等	引き続き順次実施	防災行政無線のデジタル化工事を実施した。河川管理者からの情報による防災メールを発信した。	実施済み	個別簡易受信機(特定小電力トランシーバー)を難聴地区の世帯に導入した。また、電話応答装置の同時接続回線の増設を検討した。	H24から電話応答サービスを実施している。	市内に設置している防災行政無線のデジタル化が全箇所完了	防災行政無線(移動系)デジタル化工事にに向けて準備中。	消防団幹部に対して携帯型デジタル簡易無線機を95台配備した。【H28】	防災無線設備のデジタル化と併せて、防災無線情報のメール配信、音声案内システムで対応している。	防災行政無線デジタル化に向け、取り組んでいる。			
②浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	実施済み	実施済み	実施済み										
③水防活動を支援するための新素材・新技術等を含めた水防資機材等の配備	・水防活動を支援するための新素材・新技術等を含めた水防資機材等の配備	引き続き順次実施	今後、事業者との連携を図り、新たな資機材の調査研究をしていく。	今後、新素材等を用いた水防資機材の配備について検討していく。	救命用ボートを購入した。	今後、新素材・新技術を含めた水防資機材等の配備について検討していく。	ライフジャケットの追加配備	水防活動の際に活用できる資機材の充実を検討中。	充電式LED投光器の配備を行い、夜間における消防団の水防活動の充実を図った。【H28】	水防活動に効果的な資機材等について検討中。	新素材・新技術を活用した資機材は購入していない。	適宜、水防資機材の更新及び適切な管理を行っている。		
④水防団の円滑な水防活動を支援するための簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	引き続き実施										簡易水位計の設置を行った。		
2) ソフト対策の主な取組 (1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組														
■情報伝達、避難計画等に関する取組														
①住民の避難行動、迅速な水防活動を支援するための水位計やライブカメラのリアルタイムの情報提供	・洪水予報等の情報発信(洪水予報等)の実施 ・水位計の情報やライブカメラの映像をリアルタイムで提供	引き続き実施									河川の状態を把握するライブカメラの整備に向けて検討を開始した。	設置した簡易水位計のデータを「川の防災情報」で配信した。		
②避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	・チェックリストを活用しタイムラインを作成 ・タイムラインを検証し見直しを実施	引き続き順次実施	作成済み	作成済み	タイムラインを作成した。	H28実施済み	図上訓練等を実施し、タイムラインを検証	作成済み	作成済み	作成済み	作成に向けて検討中。	多摩川流域市からの問合せに対応できるよう準備した。		
③タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練の実施	・ロールプレイング等の実践的な訓練を実施	引き続き順次実施	今後、訓練実施に向けて検討していく。	今後、訓練実施に向けて検討していく。	タイムラインを作成中であったため、検討していない。	H28に職員向けに実施。首長等も参加する訓練については、H29以降の実施に向け検討中。	・災害図上訓練の実施 ・ロールプレイング方式の災害対策本部訓練の実施	平成29年度に水防訓練を行う。		水防訓練時に実施(H28.6.19)	今後、実施に向けて検討していく。	今後、自治体が実施するロールプレイング等の水防訓練に参加していく。		
④想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	H28年度										公表済み		
⑤想定最大規模降雨による洪水を対象とした洪水ハザードマップの策定	・想定最大規模降雨による洪水を対象とした洪水ハザードマップの策定	H28年度から順次実施	想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域を表示したハザードマップの作成を検討した。	今後、想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域を表示したハザードマップを策定していく。	想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域を表示したハザードマップの作成を検討した。	H29.3全戸配布済み		平成29年度に想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域を反映したハザードマップの作成を行う。	平成29年度に多摩川・大栗川浸水想定を反映した防災マップ・洪水ハザードマップを作成し、全戸配布を実施していく。	想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域を表示したハザードマップを来年度策定するため、予算計上等の事務を実施した。	作成に向けて検討中。			
⑥近隣市と連携した広域避難計画及び崖線下の住人の段丘上への避難計画	・想定最大規模降雨に伴う洪水による浸水により、市町内避難所数が不足する場合や避難が市町内避難所より他市町の方が適切と思われる場合等において、広域避難計画(案)を作成 ・崖線下で浸水が全域に広がるため、段丘上へ誘導	引き続き順次実施	今後、必要に応じて検討していく。	想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域を表示したハザードマップを策定した後、検討していく。	避難計画の策定についての検討は実施できなかった。	災害時避難行動要支援者全体計画の作成の中で検討。		検討中	今後、必要に応じて検討していく。	広域避難が想定される地区を対象に検討中。	隣接市の施設との協定について検討中。	「浸水想定区域図データ電子化ガイドライン」に基づいて、自治体へデータを提供した。		
⑦要配慮者・外国人等への対応等を考慮した避難計画の検討	・想定最大規模降雨に伴う洪水による要配慮者利用施設への対応や外国人への対応等を考慮した避難計画の作成	引き続き順次実施	今後、検討していく。	想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域を表示したハザードマップを策定した後、検討していく。					今後、要配慮者施設への情報伝達方法や避難方向などを検討していく。					
⑧日常時から水防意識の向上を図るため、案内板等の整備や電柱等に想定浸水深などを標識として表示する「まごまごハザードマップ」の検討	・既設案内板の利活用を検討 ・公共施設や電柱を中心に、看板の設置を検討	H28年度から順次実施	今後、検討していく。	要配慮者利用施設の避難計画の作成の促進を行っている。	電柱を活用した避難場所案内標識を整備した。(電柱5カ所)	広告付避難場所等電柱看板掲出事業の中で検討・実施中。		地域貢献型広告を設置する協定を締結し、電柱を使った避難場所案内標識の設置を検討している。	多摩川浸水想定区域内の電柱に想定浸水深を示した巻きつけ看板を設置した。【H28】	協定を締結しており、電柱を利用した広告付避難場所案内標識を設置している。	電柱広告利用の協定を締結しており、その活用について検討中。			
⑨気象情報発信時の「危険度の色分け表示」や「警報級の可能性の提供」を実施	・警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化	H29年度										「危険度の色分け表示」「警報級の可能性の提供」等の防災気象情報の改善について、自治体関係者に説明を行った。		

①本年度の取り組み状況の確認

具体的な取組の柱	主な内容	目標時期	実施する機関												
			八王子市	立川市	青梅市	昭島市	日野市	福生市	多摩市	羽村市	あきる野市	東京都	気象庁	関東地整	
			事項	具体的取組											
2)ソフト対策の主な取組 (1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組															
■防災教育や防災知識の普及															
①水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	ハザードマップの見方などの水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	引き続き順次実施	台風第9号において電話対応応援職員を配置し、市民対応にあたった。	設置済み	防災課が担当しているが、状況に応じて、電話対応を担う応援職員を配置し、対応した。	設置済み	専用の窓口を用意するようにはしておらず、防災安全課にて対応している。	基本的には防災担当で対応するが、内容によって道路や下水道部門との連携して対応した。	専門窓口は設置していないが、防災安全課窓口にて随時対応を実施している。【H28】	防災担当で対応しているが、水災害の状況に応じて、道路、河川担当と連携して対応した。	状況に応じて、電話対応を担う応援職員を配置し、市民対応にあたった。		自治体と双方のホットラインを設置している。	問い合わせ窓口を設置している。	
②水防災意識社会の再構築のための説明会・講習会の開催	水防災に関する説明会を開催	H28年度から順次実施	出前講座等で啓発を行った。	今後、水防災意識の向上を図るための説明会・講習会について、実施に向けて検討していく。	水防災意識の向上を図るための説明会・講習会について検討していない。	様々な機会をとらえて実施中。		自主防災組織に向けて講演会を行った。	多摩川・大栗川浸水想定の変更に関する説明会を地元自治会等を対象に実施した。【H28】	多摩川浸水想定が変更されたことに伴い、地域の訓練や出前講座を通じて水害に対する防災講話を実施した。【H28】	水防訓練(H28.6.19)、出前講座等において実施した。	自主防災組織による防災訓練の中で啓発を行っている。	要配慮者利用施設管理者向けの説明会を開催する準備を進めた。	引き続き、市の要請により、水防災意識社会の向上を図るための説明会・講習会・出前講座を積極的に行っていく。	
③教員を対象とした講習会の実施	授業を実施する前に担当教員にも水災害の知識を身につけていただくための講習会を実施	引き続き順次実施	教育委員会主体により実施	今後、教員を対象とした講習会の実施を検討していく。	教員を対象とした講習会について検討していない。	様々な機会をとらえて実施した。					教育委員会が主体となり、実施した。				引き続き、市の要請により、講習会等を積極的に行っていく。
④小学生を対象とした水防災教育の実施	小学校の総合学習授業の中で、水防災教育の取組の実施	引き続き順次実施	各学校にて実施	各校の安全指導の中で注意を促している。	毎年教員に配付される「安全教育プログラム」(東京都教育委員会)によって、「気象災害時の安全」として風水害の理解と安全な行動を教えている。	要請があった小学校に対して実施した。	要請があったものに対して実施(H28は1校で実施)	市の総合防災訓練内にて実施。	市内学校の防災キャンプや防災学習を通じて職員を派遣し、防災講話を実施した。【H28】	市総合防災訓練(H28.9.4)や各校で行う避難訓練等を通して実施した。					引き続き、市の要請により、水防災教育への協力を積極的に行っていく。
⑤出前講座等の講習会の実施	出前講座等の要望があれば積極的に参加し、防災知識の普及啓発活動等の支援を実施	引き続き順次実施	H28年度は46件実施	出前講座等を活用して説明を行っている。	風水害に関する内容を盛り込んだ出前講座を実施し、市民へ周知を行った。	様々な機会をとらえて実施した。	自治会より要望があったものについては出前講座を実施	市民団体から要望を受け、出前講座を実施した。	出前講座の要望に応じ、災害時の備え等防災講話を実施した。【H28】	水防訓練、出前講座を実施し、防災に対する啓発活動を実施した。					日野市において出前講座を実施した。
2)ソフト対策の主な取組 (2)洪水氾濫被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組															
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に向けた取組															
①水防団等への連絡体制の確保と伝達訓練の実施	無線やメールなどを活用した情報伝達手段の確保 ・情報伝達訓練等の実施	引き続き実施	消防団が水防団を兼務しており、伝達の確認や実施については、日頃の訓練や火災現場等に出動する際の連絡方法と同様の体制で行っている。	実施済み	6月に実施した土砂災害対応訓練時に消防団による水防訓練を実施した。	実施済み	無線機器の保守点検 無線通信訓練の実施(毎月)	実施済み	災害時想定ではあるが、メール連絡により実施し、本部と現場間の連絡を無線で行う情報伝達訓練を実施した。	総合防災訓練(H28.9.4)や水防訓練(H28.6.19)の他、日頃から定期的に行なった。	無線機、消防団メールによる連絡体制を確保し、通信訓練を実施している。				
②水防団同士の連絡体制の確保	近隣の水防団の連絡体制の確保	引き続き実施	電話のほか、無線やメールなどを活用することで、情報伝達手段を確保している。	実施済み	風水害時に消防団無線により連絡体制を確保した。	実施済み	実施済み	実施済み	消防団幹部に対して携帯型デジタル簡易無線機を95台配備した。	無線、メール等により、連絡体制を確保している。	無線やメールにより、連絡体制を確保している。				
③水防団や地域住民が参加する重要水防箇所等の共同点検	水防団や地域住民が参加する重要水防箇所等の共同点検	引き続き実施	合同巡視の実施(6/7)	共同点検で地元住民へ周知している。	京浜河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加した。	河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に周辺自治会長等が参加している。	水防団や地域住民が参加する重要水防箇所等の共同点検を行った。	6/15に合同巡視の実施した。	多摩川・浅川の共同点検に消防団及び周辺自治会長等が参加している。	河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検への参加を行った。	河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加した。	国が実施している重要水防箇所等の共同点検に参加している。			出水期前に重要水防箇所等の共同点検を実施した。
④関係機関が連携した水防訓練の実施	合同水防訓練や水防管理団体が行う訓練への参加	引き続き実施	総合水防訓練の実施(5/21)	平成28年5月22日昭島市・国立市とともに、三市二署合同水防訓練を実施した。	6月に実施した土砂災害対応訓練時に消防署、消防団と連携して水防訓練を実施した。	平成28年5月22日立川市・国立市とともに、三市二署合同水防訓練を実施した。	市、消防署、消防団(水防団を兼ねる)による合同水防訓練を実施した。	平成29年度に消防署と合同で水防訓練を実施予定。	合同水防訓練を実施した。	消防署と合同で、自主防災組織、消防団、関係機関が参加する水防訓練を実施し、浸水想定区域ごとに市民を募集、それぞれに水防訓練や避難方法の説明等を実施した。(H28.6.19)	あきる野市・日の出町・檜原村の秋川流域3市町村・第九消防方面合同総合水防訓練を実施した。	関係機関が実施する訓練に必要に応じて参加する。			今後、水防管理団体が行う訓練に参加していく。
⑤水防活動の担い手となる水防団体等の募集の促進	広報紙やホームページ等で広く募集	引き続き実施	広報誌、HP等での募集 ポスター掲示 イベントでのチラシ配布活動	実施済み	市広報やホームページ、産業観光まつりで消防団員の募集を実施した。	ホームページ、イベント等で消防団員の募集を実施した。	成人式会場にてチラシ配り等広報活動を実施した。	市の広報、HPへの掲載 イベントでのチラシ配布	広報紙にて専用コーナーを設け、1年間に渡り、当市消防団10個分団それぞれの活動を紹介して入団促進を図ったほか、消防団のfacebookページの運用を開始した。	消防団員募集を広報や公式サイト等で実施した。	消防団協力事業所制度及び消防団サポート事業を開始した。				
2)ソフト対策の主な取組 (3)一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組															
■排水活動及び施設運用の強化に関する取組															
①排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)を作成	排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)を作成	H29年度から順次実施	今後、必要に応じて調整していく。	今後、検討していく。	排水計画について検討はしていない。	未検討	なし	未実施	今後、必要に応じて調整していく。	連絡体制等について検討中	今後、必要に応じて検討していく。				大規模水害時における排水計画(案)の検討を実施した。
②排水訓練の実施	排水訓練の実施	H30年度から順次実施	今後、必要に応じて調整していく。	今後、検討していく。	排水訓練の実施について検討はしていない。	未検討	なし	未実施	今後、必要に応じて調整していく。	連絡体制等について検討中	今後、必要に応じて検討していく。				今後、大規模水害を想定した排水訓練の実施を検討していく。
自由回答欄															

②次年度以降の取り組み予定の確認

具体的な取組の柱	事項	主なる内容	目標時期	実施する機関											
				八王子市	立川市	青梅市	昭島市	日野市	福生市	多摩市	羽村市	あきる野市	東京都	気象庁	関東地整
1)ハード対策の主な取組															
■避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備															
	①防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布、防災無線子機サービスの導入	・防災行政無線の改良、防災ラジオ等の配布、防災無線子機サービスの導入、デジタル化、難聴地区の解消等	引き続き順次実施	引き続き、防災行政無線のデジタル化工事を実施していく。(平成31年度終了予定)	実施済み	個別簡易受信機(特定小電力ラジエーター)を難聴地区の世帯に導入する。また、電話応答装置の同時接続回線を増設する。(6回線→8回線)	H29年度より防災行政無線のデジタル化を計画的に実施予定である。	防災無線の補完手段としての音声自動応答サービスを住民に広報する。	防災行政無線デジタル化工事(移動系)を実施する予定。	電波法の改正に伴う無線設備規則が改正されたことにより、防災行政無線のスプリング調査を実施予定である。	防災無線設備のデジタル化【H32】	防災行政無線のデジタル化に向けて検討【32年度】			
	②浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	・浸水時においても災害対応を継続するための施設の整備及び自家発電装置等の耐水化	実施済み	実施済み											
	③水防活動を支援するための新素材・新技術等を含めた水防資機材等の配備	・水防活動を支援するための新素材・新技術等を含めた水防資機材等の配備	引き続き順次実施	事業者との連携を図り、新たな資機材の調査研究	新素材等を用いた水防資機材の配備について検討する。	引き続き、水防資機材の配備について検討する。	新素材・新技術を含めた水防資機材等の配備について検討する。	ライフジャケットの追加配備	水防活動の際に活用できる資機材の充実を検討する。	実施済み	水防活動に効果的な資機材等について検討していく。	新素材・新技術を取り入れた資機材の活用について検討	適宜、水防資機材の更新及び適切な管理を行う。	新技術を活用した資機材等の配備をしていく。大規模水害に備えた水防資機材の拡充をしていく。	
	④水防団の円滑な水防活動を支援するための簡易水位計や量水標、CCTVカメラ等の設置	・簡易水位計や量水標、CCTVカメラの設置	引き続き実施											水防団の円滑な水防活動を支援するための簡易水位計や量水標の設置を検討していく。	
2)ソフト対策の主な取組 (1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組															
■情報伝達、避難計画等に関する取組															
	①住民の避難行動、迅速な水防活動を支援するための水位計やライブカメラのリアルタイムの情報提供	・洪水予報等の情報発信(洪水予報等)の実施 ・水位計の情報やライブカメラの映像をリアルタイムで提供	引き続き実施											河川の状態を把握するライブカメラを整備する。	洪水予報等の情報配信を実施していく。
	②避難勧告の発令に着目したタイムラインの作成	・チェックリストを活用したタイムラインを作成 ・タイムラインを検証し見直しを実施	引き続き順次実施	作成済み	作成済み	実際の出水を通して内容を精査していく。	出水期までにバージョンアップしたものを作成予定である。	図上訓練等の結果を踏まえ、タイムラインを逐次変更していく。	想定される水害を踏まえて検討していく。	作成済み	水害対応、水防訓練等の結果を踏まえ修正していく。	作成に向けて検討	流域自治体の作成に適宜協力する。	必要に応じて、タイムライン作成に必要な水位情報の提供を行っていく。	
	③タイムラインに基づく首長等も参加した実践的な訓練の実施	・ロールプレイング等の実践的な訓練を実施	引き続き順次実施	訓練実施に向けて検討する。	訓練実施に向けて検討する。	風水害の訓練は、土砂災害を想定して実施しているため、洪水を想定した訓練も含め今後検討する。	訓練実施に向けて検討する。	図上訓練の実施を予定【H29】	訓練実施に向けて検討する。		隔年で実施している水防訓練で実施予定【H30】	実施に向けて検討	水防管理者が実施する訓練に、必要に応じて協力する。	自治体が実施するロールプレイング等の水防訓練に参加していく。	
	④想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	・想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表	H28年度											公表済み	
	⑤想定最大規模降雨による洪水を対象とした洪水ハザードマップの策定	・想定最大規模降雨による洪水を対象とした洪水ハザードマップの策定	H28年度から順次実施	想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域を表示したハザードマップの作成	洪水ハザードマップを作成予定【H29】	想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域を表示したハザードマップの作成について検討していく。	実施済み	H29年度に新規ハザードマップを作成する。	平成29年度に想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域を反映したハザードマップの作成を行う。	多摩川・大東川浸水想定を反映した防災マップ・洪水ハザードマップを作成し、全戸配布を実施予定である。【H29】	想定最大規模降雨における、浸水想定区域を表示したハザードマップを策定予定【H29】	作成に向けて検討			
	⑥近隣市と連携した広域避難計画及び産線下の住人の段丘上への避難計画	・想定最大規模降雨に伴う洪水による浸水により、市内避難所数が不足する場合や避難が市内避難所より他市町の方が適切と思われる場合等において、広域避難計画(案)を作成 ・産線下で浸水が全域に広がるため、段丘上へ誘導	引き続き順次実施	必要に応じて検討する。	想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域を表示したハザードマップ策定した後、検討する。			今後、検討していく。	適宜検討する。	必要に応じて検討する。	広域避難が想定される地区を対象に検討予定	隣接市の施設との協定締結に向けて取り組む。	平成28年度に「浸水想定区域データ電子化ガイドライン」に基づいて、自治体へデータを提供した。		
	⑦要配慮者・外国人等への対応等を考慮した避難計画の検討	・想定最大規模降雨に伴う洪水による要配慮者利用施設への対応や外国人への対応等を考慮した避難計画の作成	引き続き順次実施	今後、検討していく。	想定最大規模降雨における洪水浸水想定区域を表示したハザードマップ策定した後、検討する。	要配慮者施設への情報伝達方法や避難方向などを検討していく。	災害時避難行動要支援者全体計画の作成の中で検討	今後、検討していく。	適宜検討する。	要配慮者施設への情報伝達方法や避難方向などを検討する。	浸水想定区域内の施設への情報提供や計画作成の支援を行っていく。	作成に向けて検討			
	⑧日常時から水防意識の向上を図るため、案内板等の整備や電柱等に想定浸水深などを標識として表示する「まるごとまちごとハザードマップ」の検討	・既設案内板の活用を検討 ・公共施設や電柱を中心に、看板の設置を検討	H28年度から順次実施	今後、検討していく。	引き続き、要配慮者利用施設の避難計画の作成の促進を行っていく。	電柱に避難場所案内標識の整備を進めていくとともに、想定浸水深などを標識として表示することを検討していく。	引き続き制度の周知に取り組んでいく。	現在のところは予定なし。今後、必要性も踏まえ検討していく。	適宜検討する。	想定しうる災害規模の降雨を反映した浸水深巻きつけ看板を、新しい浸水想定区域の電柱に設置した。【H28】	電柱を利用した広告付避難所案内標識を設置しているが、新たな箇所についても検討し推進していく。	電柱広告利用の協定を締結しており、その活用について検討			
	⑨気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の可能性」の提供を実施	・警報等における危険度の色分け表示 ・「警報級の現象になる可能性」の情報提供 ・メッシュ情報の充実化	H29年度											「危険度の色分け表示」警報級の可能性の提供等の防災気象情報の改善を、29年5月を目途に実施予定である。	

②次年度以降の取り組み予定の確認

具体的な取組の柱	事項 具体的取組	主な内容	目標時期	実施する機関											
				八王子市	立川市	青梅市	昭島市	日野市	福生市	多摩市	羽村市	あきる野市	東京都	気象庁	関東地整
2)ソフト対策の主な取組 (1)逃げ遅れゼロに向けた迅速かつ的確な避難行動のための取組															
■防災教育や防災知識の普及															
	①水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	・ハザードマップの見方などの水災害の事前準備に関する問い合わせ窓口の設置	引き続き順次実施	設置済み	設置済み	防災課が担当しているが、状況に応じて、電話対応を担う応援職員を配置し、対応していく。	実施済み	H28と同様	設置済み	専用窓口は設置していないが、防災安全課窓口にて随時対応を実施している。	防災担当で対応していく。	状況に応じて、電話対応を担う応援職員を配置し、市民対応にあたる。		自治体と双方向のホットライン窓口を設定し、気象の見通し等に係る解説に対するほか、平常時から問い合わせに成じる。	問い合わせ窓口を設置している。
	②水防災意識社会の再構築のための説明会・講習会の開催	・水防災に関する説明会を開催	H28年度から順次実施	引き続き、実施予定	水防災意識の向上を図るための説明会・講習会について、実施に向けて検討する。	水防災意識の向上を図るための説明会・講習会について、実施に向けて検討していく。	H28と同様に様々な機会をとらえ、実施する。	現在のところは予定なし。今後、必要性も踏まえ検討していく。	消防署と合同で行う訓練等を通して水防災意識の向上に努めていく。	地域の訓練や出前講座を通じた防災講話等を引き続き実施していく。【H29】	水防災意識の向上を図るための説明会・講習会の実施を検討していく。【H29】	自主防災組織による防災訓練の中で啓発を行っている。		自治体等の要請により、水防災意識の向上を図るための説明会・講習会・出前講座を積極的に進めていく。	市の要請により、水防災意識の向上を図るための説明会・講習会を積極的に進めていく。
	③教員を対象とした講習会の実施	・授業を実施する前に担当教員にも水災害の知識を身につけていただくための講習会を実施	引き続き順次実施	引き続き、実施予定	教員を対象とした講習会の実施を検討する。	教員を対象とした講習会の実施を検討していく。	H28と同様に様々な機会をとらえ、実施する。	現在のところは予定なし。今後、必要性も踏まえ検討していく。	今後検討していく。	教育委員会が主体となり実施する。	教育委員会が主体となり、実施していく。	教職員の防災に関する研修を検討する。		京浜河川事務所及び流域自治体の取組に協力する。	市の要請により、講習会等を積極的に進めていく。
	④小学生を対象とした水防災教育の実施	・小学校の総合学習授業の中で、水防災教育の取組の実施	引き続き順次実施	引き続き、実施予定	引き続き、各校の安全指導の中で注意を促していく。	継続して、毎年教員に配付される「安全教育プログラム」(東京都教育委員会)によって、「気象災害時の安全」として風水害の理解と安全な行動を教える。	学校より要望があれば実施する。	学校より要望があれば実施する。	今後検討していく。	学校の防災キャンプや防災訓練を通して、引き続き防災教育を実施していく。	市総合防災訓練や各校で行う避難訓練等を通して実施していく。	各学校において、東京都が教員に配布している「安全教育プログラム」を活用して教育している。	「東京防災」を活用した啓発支援に取り組みしていく。	京浜河川事務所及び流域自治体の取組に協力する。	市の要請により、水防災教育への協力を積極的に進めていく。
	⑤出前講座等の講習会の実施	・出前講座等の要望があれば積極的に参加し、防災知識の普及啓発活動等の支援を実施	引き続き順次実施	引き続き、実施予定	出前講座等を活用して説明を行っている。	風水害に関する内容を盛り込んだ出前講座を実施し、市民へ周知を図っていく。	H28と同様に様々な機会をとらえ、実施する。	H28と同様	出前講座実施の際に防災知識の普及啓発活動等の支援を行う。	地域の自主防災組織の訓練や地域団体の出前講座の際に、職員を派遣し、水害時における対策の講話を実施した。【H28】平成29年度以降も引き続き実施する。	出前講座等の要望があれば参加し、防災知識の普及啓発活動等の支援を実施していく。	必要に応じて実施する。	風水害の体験型訓練を拡充していく。	京浜河川事務所及び流域自治体の取組に協力する。	市の要請により、水防災意識の向上を図るための説明会・講習会を積極的に進めていく。
2)ソフト対策の主な取組 (2)洪水氾濫被害の軽減、避難時間の確保のための水防活動の取組															
■水防活動の効率化及び水防体制の強化に向けた取組															
	①水防団等への連絡体制の確保と伝達訓練の実施	・無線やメールなどを活用した情報伝達手段の確保 ・情報伝達訓練等の実施	引き続き実施	消防団が水防団を兼務しており、伝達の確認や実施については、日頃の訓練や火災現場等に出動する際の連絡方法と同様の体制で行っている。	実施済み	土砂災害対応訓練時に消防団による水防訓練を実施していく。	H28と同様に様々な機会をとらえ、実施する。	H28年度と同様	実施済み	震災時想定ではあるが、メール連絡により参加し、本部と現場間の連絡を無碍で行う情報伝達訓練を実施した。【H28】平成29年度以降も引き続き実施する。	総合防災訓練や隔年で実施する水防訓練の他、日頃から定期的に実施していく。	無線機、消防団メールにより連絡体制を確保し、通信訓練を実施する。			
	②水防団同士の連絡体制の確保	・近隣の水防団の連絡体制の確保	引き続き実施	電話のほか、無線やメールなどを活用することで、情報伝達手段を確保している。	実施済み	消防団無線により連絡体制を確保していく。	引き続き連絡体制を確保していく。	実施予定なし	実施済み	実施済み	無線、メール等により、連絡体制を確保していく。	実施済み			
	③水防団や地域住民が参加する重要水防箇所等の共同点検	・水防団や地域住民が参加する重要水防箇所等の共同点検	引き続き実施	合同巡視参加	共同点検で地元住民へ周知している。	京浜河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加していく。	適宜共同点検に参加していく。	H28年度と同様	今後も共同点検に参加していく。	多摩川・浅川の共同点検に消防団及び周辺自治会長等が参加していく。	引き続き、河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検への参加促進に取り組んでいく。	河川事務所が実施する重要水防箇所等の共同点検に参加する。	引き続き、国が実施している重要水防箇所等の共同点検に参加する。	京浜河川事務所が実施する共同点検に参加する。	出水期前に重要水防箇所等の共同点検を実施していく。
	④関係機関が連携した水防訓練の実施	・合同水防訓練や水防管理団体が行う訓練への参加	引き続き実施	風水害を想定した市総合水防訓練の実施	平成29年5月21日昭島市・国立市とともに、三市二署合同水防訓練を実施予定である。	土砂災害対応訓練時に消防署、消防団と連携して水防訓練を実施していく。	平成29年5月21日立川市・国立市とともに、三市二署合同水防訓練を実施予定である。	H28年度と同様	消防署と合同で水防訓練を行う。	合同水防訓練を実施した。【H28】平成29年度は東京消防庁第九消防方面との大規模な水防訓練を実施予定である。	消防署と合同で、自主防災組織、消防団、関係機関が参加する水防訓練(隔年)を実施し、浸水想定区域ごとに市民を集め、それぞれに水防訓練や避難方法の説明等を実施していく。	必要に応じて実施する。	関係機関が実施する訓練に必要に応じて参加する。	関係機関が実施する訓練に必要に応じて協力する。	水防管理団体が行う訓練に参加していく。
	⑤水防活動の担い手となる水防団体等の募集の促進	・広報紙やホームページ等で広く募集	引き続き実施	広報紙、HP等での募集 ポスター掲示 イベントでのチラシ配布活動	実施済み	市広報やホームページ、産業観光まつりで消防団員の募集を実施していく。	引き続き募集の促進をしていく。	H28年度と同様	市の広報、HPやチラシの配布等で募集を行っていく。	広報紙にて専用コーナーを設け、1年間に渡り、当市消防団10個分団それぞれの活動を紹介して入団促進を図ったほか、消防団のfacebookページの運用を開始した。【H28】29年度以降も引き続き実施する。	消防団員募集を広報や公式サイト等で実施していく。	消防団協力事業所制度及び消防団サポート事業を推進する。			
2)ソフト対策の主な取組 (3)一刻も早い生活再建及び社会経済活動の回復を可能とするための排水活動の取組															
■排水活動及び施設運用の強化に関する取組															
	①排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)を作成	・排水機場・樋門・水門等の情報共有、排水手法等の検討を行い、大規模水害を想定した排水計画(案)を作成	H29年度から順次実施	必要に応じて調整する。	今後、検討していく。	排水計画について検討していく。	未定	下水道BCP(台風編)作成準備	今後検討していく。	必要に応じて調整する。	連絡体制等について検討していく。	必要に応じて検討する。	氾濫時に配備可能な排水ポンプ車について確認し、引き続き排水計画の策定に協力していく。		引き続き、大規模水害時における排水計画(案)を検討していく。
	②排水訓練の実施	・排水訓練の実施	H30年度から順次実施	必要に応じて調整する。	今後、検討していく。	排水訓練の実施について検討していく。	未定	排水訓練の実施(上記BCPに基づく)	今後検討していく。	必要に応じて調整する。	排水訓練の実施について検討していく。	必要に応じて検討する。			大規模水害を想定した排水訓練の実施を検討していく。
自由回答欄															